



菊水郷

編集／発行

大阪府立富田林高等学校
(旧富中) 同窓会

〒584-0035
大阪府富田林市谷川町4番30号
TEL (0721) 23-2281 (代表)
FAX (0721) 23-2204
印刷 (株)サルト



1

母校に
どうぞ!!

- ①昨年度閉課程となった定時制の記念碑と創立百年の記念碑
- ②今年3月に行われた定時制記念碑の除幕式
- ③定時制の記念碑



2



3

平成20年度 同窓会総会

とき

平成20年11月22日(土) 午後3時30分より (受付午後3時開始)

○総会・講演 午後3:30~

講演 講師 乾 正 (高6期)

元花園大学教授、大阪府立ところの健康総合センター所長

演題 「老いについて」

○懇親会 午後5:00~

ところ

天王寺都ホテル 〒545-0053 大阪市阿倍野区松崎町(近鉄百貨店東隣)
TEL 06-6628-3200(代表)

○総会・講演 5F 高取の間

○懇親会 5F 信貴の間

参加費

7,000円(ただし、平成20年3月卒業生は、2,000円)

※同封の払込用紙にて振り込みをお願いします。





ごあいさつ

会長 越井 健

「願わくば 花の下にて 春死なむ
そのきさらぎの 望月のころ」

これは西行法師が弘川寺にて詠んだ有名な歌です。彼は鳥羽院の北面の武士でありましたが、感じる処あり、出家して諸国を巡り、河内の国、弘川寺（河南町）にて死んだとされています。

先の桜の満開の季節、大阪府は植樹祭を弘川寺で行い、橋下知事も出席されて、我々木材業関係者も多く参加しました。橋下知事は、今問題となっている地球環境をよくする為に植林・植樹がいかに大切か、ということにはほとんど触れられなかったことは残念でしたが、知事が強調されていたことは、弘川寺をとりまく環境のすばらしいこと、その辺りの人々のにこやかな顔が印象的であ

ることを挨拶の中で述べられました。

話は変わりますが、富田林には石上露子という女流歌人が住んでいました。与謝野晶子と共に明星派の有名な歌人です。彼女は一橋高商の学生と恋に落ちますが、古い時代のことで結ばれることが出来ませんでした。「小板橋」という歌は彼女が詠んだもので有名なものです。

以上、紹介したことで分かる様に、我が富田林高校のまわりには、我々を魅了するすばらしい舞台が広がっています。府下のどの学校にもこの様な環境はないでしょう。我々はこのすばらしい学校で学ぶことが出来たことを幸せに思います。文化の香り高いこの雰囲気を楽しみたいものです。

我が富高同窓会が益々、卒業生から愛されることを期待しながら、皆さんの幸せを祈っております。



同窓会の皆様へ

大阪府立富田林高等学校 校長 大木 徳 史

4月1日に池田市にある渋谷高等学校から赴任してきました大木と申します。どうぞよろしく願いいたします。淀川、大和川を越え、摂津の国、和泉の国、そして河内の国へと、大阪府を3分の2ほど移動し、地域により文化、歴史、土壌、人々の話す言葉も違うということを感じました。それぞれの良いところを、是非富高へ持ちこみたいと思っております。着任してから教職員や生徒会執行部の生徒に、本校の状況を聞かさせていただきましたが、一言で言えば、本当に良い生徒が多いと感じ、伝統と歴史のある本校に勤務できることに感じております。

さて、社会の著しい変化は、様々なものの価値観さえ変えてしまい、何が大切なのかも、見失いがちになっております。しかし、どの様に社会が変化しても、人として、変らない大切なものを、きちんと身に付けさせていくこ

とは、私たち大人の務めであると考えております。そういった中で、本校の最重要の教育目標として「人権尊重の精神」と、「授業の充実と進路実現」を掲げております。具体的な取り組みにつきましては、今後、富田林高校のHPへ掲載していきますので、ご覧下さい。

ご存知のように、大阪府では橋下知事の下、財政再建が進められていますが、このことの是非は別といたしまして、現実的には、教育予算が減ることは間違いのないところであり、本校においても、現実的な対応として、配当された予算の節約と効率的な配分、また、同窓会などの支援団体へ協力依頼を行い、こういった状況下の中でも、知恵を使いながら生徒たちの教育環境を向上させる所存です。本校では二十一世紀に堂々と羽ばたいていける子どもの育成に努めてまいりたいと存じます。日ごろの同窓会の温かいご支援に対し、御礼を申し上げ、ご挨拶に代えさせていただきます。

個人情報保護法 について

平成17年4月1日より
個人情報保護法が施行されました。

同窓会事務局は、個人情報保護法の趣旨に鑑み同窓会が保有する個人情報については適正な取扱いを実施する必要があると考え、見直しを進めております。

今後、役員会で運用の仕方とデータベースの安全管理方法をまとめていきたいと考えております。

また、他校同窓会とも協力し、よりよい運営を心がけたいと思っております。

名簿管理は株式会社サラトに依頼しております。他の業者等からの問い合わせにはご注意ください。

閉課程 の 報 告

ありがとう富定の灯

昭和23年9月創設以来60年の歴史をもった富高定時制の課程は、本年3月をもって閉課程となりました。

まことに寂しい限りですが、航跡をふりかえり有終の美を終えたことをご報告します。



閉課程記念式典 ありがとう富定の灯
大阪府立宮田高等学校定時制の課程



沿革

- 昭和23年9月27日 普通科夜間部設置
科長原分校設置
千早分校設置
- 24年4月1日 長野分校設置
- 26年4月1日 赤坂分校設置
- 31年3月31日 科長原分校閉校
- 34年4月1日 赤坂分校・千早分校を統合し
千早赤坂分校と改称
- 39年3月31日 長野分校閉校
- 44年3月31日 千早赤坂分校定時制課程廃止
在校生徒を本校定時制に移籍
- 平成4年4月1日 通信制併習による3年制導入
8年～14年
一般府民と授業をともにする
聴講授業を開講
- 9年度入試～ 社会人入試制度導入
11年
新校舎完成
- 17年4月1日 新入生募集停止
- 20年3月31日 閉課程

閉課程記念事業関係

- 平成18年6月3日 18年度常任幹事会 提案
- 18年6月29日 第1回実行委員会
18年度事業計画
記念碑
記念誌
記念品保存室
記念行事
予算
- 18年12月7日 第2回実行委員会
- 19年6月9日 第3回実行委員会
- 19年10月17日 第4回実行委員会
- 19年11月5日 打ち合わせ
- 20年2月23日 第5回実行委員会
- 20年3月1日 記念碑除幕式
記念室開室
- 20年3月25日 第6回実行委員会



記念室には各期ごとに記録帖が設けられていますので、資料や思い出の写真などを追加して下さい。尚、定時制課程の職員方は全員他校に転勤されましたがこの間実行委員の皆様を始め教職員の方々にはご苦労さまでした。この欄

を借りてお礼を申し上げます。

又、今後南河内地方における社会人教育のありかたを含め、再開されることを期待して筆をおきます。

森林資源循環型企业へ

私たちは持続可能な森林経営のために
マレーシア・サバ州で、アカシア・ハイブリッドの
植林事業を行っています。



ウッドエンジニアリングで伸びる
越井木材工業株式会社
代表取締役会長 越井 健 (高6期)

大阪本社
〒559-0026 大阪市住之江区平林北1-2-158
TEL:06-6685-2061 FAX:06-6685-8778

ホームページアドレス
<http://www.koshii.co.jp>

こんどう歯科医院

院長 金 銅 克 典

大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎17期生

〒587-0002 堺市美原区黒山85-13
TEL 0723-61-1801

(近鉄バス下黒山バス停前)

広告依頼・金銅良幸(學)(中44期)
〒583-0841 羽曳野市駒ヶ谷74

河内の文化財②

金剛寺の観月会

伏谷 勝博（富高九期）

河南の名刹天野山金剛寺は、真言宗御室派に属し、新西国三十三ヶ所霊場の第七番札所である。

寺伝によれば、聖武天皇の勅願により行基菩薩が開創され、後に弘法大師が修業された霊蹟である。その後四百年の間寺運は衰微し、堂塔・伽藍は荒廃したが、平安末期、高野山の阿観上人が後白川法皇と皇妹八条女院の帰依を受け、金堂など現存の伽藍を復興された。特に、八条女院は、高野山より真如親王の筆になる弘法大師御影を当山御影堂（重文）に奉安し、当山を女性が弘法大師と御縁を結ぶ霊場とされ、以後“女人高野”とよばれている。

仲秋の明月に金剛寺では観月会が催される。金剛寺には観月亭（重文）というしょうやかな建物が境内の一段高い場所に残っている。当山に南朝の行在が置かれた時期、後村上天皇は、仲秋の明月に観月亭から満月を愛でながら月見の宴を催されたという。

この故事に因んで、金剛寺では観月会が復活され、いまではこの伝統行事が人気を呼び、地元河内長野の人々だけでなく、遠くからもこの風流な催しを鑑賞するために観光客が集まってくる。観月会の模様を紹介したい。

重文指定の楼門をくぐって境内の会

著書紹介 『河内つれづれ』



場へ入ると、右手の食堂（^{じきどう}重文）では、緋毛せんを敷いて茶の接待がなされていた。石段を登った一段高い敷地には、右に金堂（重文）、左手に多宝塔（重文）が向きあって立っている。両者にはさまれた広場に舞台が設けられ、金屏風が立てられていた。

夕闇が迫りくる頃、南北朝時代の風俗を示す衣装に扮した仮装行列の一行が楼門をくぐってしずしずと会場へ渡ってきた。深まりゆく秋の山内の静寂なたたずまいの中で、どこか王朝風の雅びの色を醸す雰囲気が漂ってきた。

程なく式典が始まった。式典の始まる頃には、観月亭の対角線にあたる天野川の背後の黒々とした森の山の端に満月が昇ってきた。まん丸い月が顔を見せ、周り一面がぱっと明るくなった瞬間えも言われぬ空気が漂い、華やかで豊かで満ち足りた気分に含まれた。

舞台では、王朝風の観月会を再現するかのよう、琴・尺八の合奏、仕舞い、漢詩の朗詠、剣舞・居合い抜きなどが次々に演じられ、会場の雰囲気は一気に盛りあがった。おそらく後村上帝以下の公家や武将たちは、南北抗争中の身であることもひととき忘れ、中天に昇った満月を愛で、詩歌管絃を楽しみながら、きらびやかな祝宴を存分に味わわれたことだろうと想像された。勿論当寺の仕込酒である天野酒もふるまわれたことだろう。催し会場より一段高い観月亭からの眺めは一層素晴らしかったと思う。

秋の夜が静かに更けゆくひととき、満月を仰ぎながら、古式ゆかしい眼前の催しを眺めて、王朝人に通じる優雅な雰囲気にひたることができ、ぜい沢な気分を味わった。

月今宵天野離宮の雅びかな

寺内町イベント予定

（平成 20 年 7 月末現在の富田林寺内町に於けるイベント予定）

8月23日(土) 寺内町燈路
（毎年8月第4土曜日）

10月11日(土)後の雛祭り

21年3月14日(土)・15日(日)
じないまち雛めぐり

5月9日(土) じないまち端午の節句

問い合わせ先：じないまち実行委員会
0721-23-5564



歴史と現状 寺内町探訪



①今は複線になった富田林駅（通称：本駅）北側にはマンションがでぎ、田舎の駅という風ではなくなった。



②楠木正成の碑（富田林駅前）



③ここから本町筋



⑦佐藤家 紅梅酒味醂の酒造業を営んでいました。敷地内に多くの土蔵を残しています。



⑥越井家 屋号を「平尾屋」とし、材木商を営んでいました。明治末期の建築で長大な米倉があります。



⑤奥谷家 屋号を「岩瀬屋」とし、油屋を営んでいました。東側の排水路はかつて防火用の「用心堀」でした。



④本町公園



⑧田守家 屋号を「黒山屋」とし、木綿屋を営んでいました。18世紀前半の建物と見られ、旧杉山家に次ぐ古い年代のものです。



⑨葛原家 屋号を「たばこ屋」とし、酒造業を営んでいました。表玄関を持つ別座敷、土蔵が有り、(南)葛原家には珍しい三階倉があります。



⑩興正寺別院 寺内町の中核寺院で表門は伏見城の門を移築したもので、真宗道上形式の本堂としては大阪府下最古の遺構です。



⑬杉山家 寺内町創設以来の旧家で酒造業を営んでいました。歌人石上露子の生家で民家の中で最も古い遺構で規模も大きく質の良い商家の住宅として重要文化財に指定されました。



⑫仲村家 屋号を「佐渡屋」とし、酒造業を営んでいました。文人墨客が多く訪れ、長州藩士吉田松陰もその内の一人です。



⑪木口家 屋号を「木綿屋」とし、木綿商を営んでいました。18世紀中期の建物



⑭あてまげ 町筋の道と道を半間ずらし、見通しを妨げています。寺内町は戦国時代のさなかで町を戦乱から守るための知恵です。



⑮交流館（寺内町探訪）



⑯旧三和銀行（現 中内眼科医院）



⑰富田林高校旧正門

平成19年度会計決算書

収入の部				
費目	予算額	決算額	差引額	備考
会費収入	4,180,000	4859,349	679,349	
会費	1,918,000	1,896,000	△22,000	
	42,000	0	△42,000	定時制4,000円×7人
臨時会費	420,000	518,000	98,000	
賛助会費	1,800,000	2,445,349	645,349	
利子収入	13,000	9,452	△3,548	
預金利息	13,000	9,452	△3,548	
雑収入	1,297,000	516,000	△781,000	
			0	
会報広告料	450,000	500,000	50,000	
雑収入		16,000	16,000	名簿代
繰越金取崩	847,000	0	△847,000	
合計	5,490,000	5,384,801	△105,199	

収支まとめ	
費目	決算額
前年度繰越金	11,627,897
今期収入	5,384,801
今期支出	5,095,326
次年度繰越額	11,917,372

費目	内容	金額
出資金		18,000
不動産	山林 名義人 同窓会会長 (一) 南河内郡河南町大字平石928番地14 5,454㎡ (二) 同上 928番地16 4,462㎡	

大阪府立富田林高等学校(旧富中)同窓会
※△印は予算額が決算額を上回った場合

支出の部				
費目	予算額	決算額	差引額	備考
事業費	4,250,000	4,236,587	△13,413	
クラブ援助費	250,000	250,000	0	
菊水郷発行費	3,300,000	3,331,839	31,839	
会員活動費	100,000	61,000	△39,000	
学校案内補助	300,000	293,748	△6,252	
定時制閉課程記念事業補助	300,000	300,000	0	
会議費	720,000	768,653	48,653	
総会費	700,000	759,053	59,053	
会議費	20,000	9,600	△10,400	
事務費	80,000	18,835	△61,165	
消耗品費	20,000	0	△20,000	
印刷費	10,000	0	△10,000	
通信費	50,000	18,835	△31,165	
人件費	50,000	0	△50,000	
報償費	50,000	0	△50,000	
諸経費	290,000	71,251	△218,749	
慶弔別費	50,000	6,961	△43,039	
支払手数料	70,000	63,590	△6,410	
諸雑費	70,000	700	△69,300	
H P 創設準備費	100,000	0	△100,000	
予備費	100,000	0	△100,000	
予備費	100,000	0	△100,000	
次期繰越金		289,475	289,475	
合計	5,490,000	5,384,801	△105,199	

平成20年6月7日 以上の通り報告いたします。
会長 越井 健 ◎
決算書、会計簿その他書類を調査し、適正かつ正確であることを認めます。
会計監査 荒井 好昭 ◎ 会計監査 青木 仁 ◎

平成19年度特別会計決算書

収入の部				
費目	予算額	決算額	差引額	備考
利子収入	48,000	40,981	△7,019	
預金利息	48,000	40,981	△7,019	
雑収入	2,346,988	2,346,988	0	
取り崩し金	2,346,988	2,346,988	0	既教育関係援助費他
合計	2,394,988	2,387,969	△7,019	

収支まとめ	
費目	決算額
前年度繰越金	23,391,319
今期収入	2,387,969
今期支出	873,680
次年度繰越額	24,905,608

支出の部				
費目	予算額	決算額	差引額	備考
事業費	982,000	873,680	△108,320	
語学研修補助	450,000	450,000	0	オーストラリア語学研修付き添い旅費
土曜セミナー補助	330,000	221,900	△108,100	土曜セミナー指導者謝礼・参考書購入
国際交流支援費	200,000	200,000	0	
通信費	0	960	960	
手数料	2,000	820	△1,180	
次期繰越金	1,412,988	1,514,289	101,301	
合計	2,394,988	2,387,969	△7,019	

平成20年6月7日 以上の通り報告いたします。
会長 越井 健 ◎
決算書、会計簿その他書類を調査し、適正かつ正確であることを認めます。
会計監査 荒井 好昭 ◎ 会計監査 青木 仁 ◎

平成20年度会計予算書

収入の部				
費目	20年度予算額	19年度予算額	備考	
会費収入	4,162,000	4,180,000		
会費	1,912,000	1,918,000	@2,000円	
	0	42,000	定時制	
臨時会費	450,000	420,000		
賛助会費	1,800,000	1,800,000		
利子収入	20,000	13,000		
預金利息	20,000	13,000		
雑収入	1,348,000	1,297,000		
会報広告料	450,000	450,000		
繰越金取崩	898,000	847,000		
合計	5,530,000	5,490,000		

収支まとめ	
費目	予算額
前年度繰越金	11,917,372
今期収入	4,632,000
今期支出	5,530,000
次年度繰越額	11,019,372

費目	内容	金額
出資金		18,000
不動産	山林 名義人 同窓会会長 (一) 南河内郡河南町大字平石928番地14 5,454㎡ (二) 同上 928番地16 4,462㎡	

支出の部				
費目	20年度予算額	19年度予算額	備考	
事業費	4,050,000	4,250,000		
クラブ援助費	250,000	250,000		
菊水郷発行費	3,400,000	3,300,000		
会員活動費	100,000	100,000		
学校案内補助	300,000	300,000		
定時制閉課程記念事業補助	0	300,000		
会議費	770,000	720,000		
総会費	750,000	700,000		
会議費	20,000	20,000		
事務費	60,000	80,000		
消耗品費	20,000	20,000		
印刷費	10,000	10,000		
通信費	30,000	50,000		
人件費	50,000	50,000		
報償費	50,000	50,000		
諸経費	500,000	290,000		
慶弔費	20,000	50,000		
支払手数料	70,000	70,000		
諸雑費	10,000	70,000		
ホームページ創設費	400,000	100,000		
予備費	100,000	100,000		
予備費	100,000	100,000		
合計	5,530,000	5,490,000		

平成20年度特別会計予算書

収入の部				
費目	20年度予算	19年度予算	備考	
利子収入	60,000	48,000		
貯金利息	60,000	48,000		
雑収入	892,000	2,346,988		
雑収入	0	2,346,988	既教育関係援助費他	
取り崩し金	892,000	0		
合計	952,000	2,394,988		

収支まとめ	
費目	予算額
前年度繰越金	24,905,608
今期収入	60,000
今期支出	952,000
次年度繰越額	24,013,608

支出の部				
費目	20年度予算	19年度予算	備考	
事業費	952,000	982,000		
語学研修補助	450,000	450,000	オーストラリア語学研修付き添い旅費	
土曜セミナー補助	500,000	330,000	土曜セミナー指導者謝礼・参考書購入	
国際交流支援費	0	200,000		
手数料	2,000	2,000		
次期繰越金	0	1,412,988		
合計	952,000	2,394,988		

平成19年度 事業報告書

Part 3

同窓会について



いつも同窓会に対して賛助会費・物心共にご協力いただき有難うございます。これからも同窓会について一層の関心とご協力をいただくべく、同窓会の抱える問題などを会員各位に報告し、共に考えていただくようページを割くことといたしました。

前回では同窓会の活動を概略でお知らせしましたが、これからは活動のテーマを絞って報告していこうと思います。今回のテーマは**常任幹事会**をとりあげます。

常任幹事会とは

同窓会は、役員だけで運営している訳ではありません。総会で方針を決めることが筋でしょうが、その手間だけに追われて年度が替わっても結論が出せないでしょう。会則はよく出来ていて、役員と総会の間を取って、卒業年度毎に選ばれている常任幹事が組織する**常任幹事会**が登場します。

常任幹事会は、会員全体を対象とする総会に代わり同窓会の運営にかかる事項を議決するという大切な役割を抱えた組織であります。

会則では、**常任幹事会**が大活躍です。常任幹事は常任幹事会を構成しますがその常任幹事が役員を選出し、同窓会の事業の全てを決め、会則以外の規則も決めています。

今年は去る6月7日に開催され、出席者全会一致で今年の予算と事業計画を可決いただきました。

ところで、本当に同窓会の会則はよく出来ていて、会則改正以外のことは、出席幹事の過半数の賛成で可決されることになっています。

常任幹事会参加者一覧

伏井 猛 朗 中26	林 寿 美 高03	山田 輝 男 高14
以倉 隆 中38	渡辺 文 一 高08	牛尾 隆 高15
萬谷 順 一 中43	星山 八十一 高09	上野 洋 介 高16
大川 千 萬 高01	岡田 貞 夫 高10	田和 清 美 高17
原田 達 雄 高02	石田 剛 一 高11	東 幸 一 高19
山際 繁 治 高03	伯井 徳 行 高12	花岡 栄 子 高20

- 平成19年
- 4月7日 全日制入学式にお祝いのフラワースタンド
- 21日 役員会
(平成18年度事業報告・決算報告・平成19年度事業計画案・予算案作成・菊水郷企画・総会準備他)
教育基金委員会
- 5月12日 会計監査
- 6月9日 役員会(常任幹事会打ち合わせ)
菊水郷第1回編集会議
常任幹事会
(平成18年度事業報告・決算報告・会計監査報告・平成19年度事業計画・予算案・他審議)
- 6月7日・8月 菊水郷編集会議を数回開く
- 8月25日 菊水郷発行についての役員会
- 10月10日 菊水郷発行
- 13日 役員会(総会打ち合わせについて)
- 11月18日 同窓会総会
総会：平成18年度事業報告・決算報告・会計監査報告・平成19年度事業計画・予算報告
講演会：伏谷勝博氏(全9期)
元大阪市立図書館館長
「空海・楠公ゆかりの河内の里」
- 平成20年
- 2月27日 全日制 入会式
- 28日 全日制 卒業式にお祝いのフラワースタンド贈呈
- 3月1日 定時制閉課程式典にフラワースタンド贈呈
- 8日 役員会 20年度スケジュール他

平成20年度 事業計画

平成20年6月7日
大阪府立富田林高等学校(旧富中)同窓会

- 各種会合
役員会 4月19日、6月7日、8月30日、10月18日、21年2月7日
会計監査会 5月17日
教育基金委員会 6月7日
常任幹事会 6月7日
総会 11月15日
菊水郷編集会議 随時
- 総会 11月15日
- 賛助会費募金活動
- 菊水郷発行 10月5日
- 同窓会員の活動援助
- 教育基金の運営
- 学校案内(来校者、校区中学校配布用)の作成補助
- クラブ活動の援助
- 全日制入学式にお祝いのフラワースタンド贈呈(平成20年4月5日)
- 全日制同窓会入会式(平成21年2月27日)
- 全日制卒業式にお祝いのフラワースタンド贈呈(平成21年2月28日)
- 山林視察
- ホームページ立ち上げ
- その他 本会の目的に達する事項



新役員紹介

(新しく今回より役員へ入っていただきました)

書記 宮部 治 男(高16期)



ホームページを開設しました。



同窓会も時代の要請に応じて、ホームページを制作いたしました。大阪府の財政再建が教育予算にも反映していることは周知のことと思いますが富高の予算にも影響を与えており、この度学校とPTAならびに同窓会が共同してホームページを開設し、長年の夢が実現しました。

当面は、情報提供のみに限定されますが、将来は双方向のものに発展させるよう努めていきたいと考えています。

同窓会名簿の発行案内

会員名簿発行(平成21年12月予定)準備に入ります



平成16年12月に、皆様のご協力により同窓会名簿を発行いたしました。毎年、会員の皆様のお手元に会報「菊水郷」をお届けしていますが、この「菊水郷」の発行を委託していますのが前回の名簿発行業務の委託を行った(株)サルトという業者であり、現在も会員の住所氏名などの管理も委託し、その実績と契約条件を比較しても同窓会に有利なものと考えられ今回も委託を予定しております。

個人情報保護法も、学校や地域での名簿はあらかじめ本人の同意や、同意に代わる本人への通知や本人が知ることの出来る状態を作ることで作製してもよいこととされています。

同窓会の目的にも名簿の発行が会則に明記されています。同窓会としては、前回より少し単価は上がりますが、(前回4,000円→今回4,500円)同じように発行して行く予定で進めていきますので皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

賛助会費芳名録

会員の皆様には、平素より同窓会母校発展にご尽力いただき感謝いたしております。皆様のご厚意で頂いております賛助会費は、同窓会活動や母校支援の大切な原資であり、母校と皆様を繋ぐ会報「菊水郷」充実の基であります。

一昨年から賛助会費を一口1,000円とし、幾口でもしていただけるようにいたしました。

今後ともお力添えをお願いいたします。なお、賛助会費を拠出していただきました方の菊水郷への記載につきましては、個人情報保護を配慮いたしまして、ご芳名と期のみとさせていただきます。ご了承いただきますようお願いいたします。

旧職員 上柴 茂 上原 浩一 尾園 茂男 岡田 安隆 奥本 藤導 加佐 有馬 佐々木 敏郎 阪井 敏子 多吾 久子 間崎 貞憲 松川 登男 湊上 和男 村木 次昭 元林 正昭	中35期 竹村 喬 谷信 和 寺山 薫 森由 市 山本 重	中40期 青谷 正 磨 井上 洋 里 井関 利 朗 市川 義 孝 志野 義 之 田島 信 雄 村上 田 欽 弘 山城 健 哉 吉村 敬 次	中45期 富行 有 志 今西 利 夫 白土 泰 三 古元 秀 明	小高 樽 鶴 山田 谷 沢 信十 博 由 子郎 光 次 郎 義 猛 田 治 次 山 山 庄 木 山 次 田 田 郎 柳 田 明 美	阪井 良 子 井タ 力 子 芝野 康 二 杉岡 正 廣 田中 敏 晃 瀧澤 井 進 土井 文 雄 中戸 松 彦 中村 哲 也 張樋 樋 口 樋本 庄 康 三森 井 繁 森分 登 志 山 上 静 雄	高9期 秋山 富 二 榎園 美 知 岡田 茂 樹 岡奥 宮 茂 金嶋 谷 研 西田 靖 一 浜田 俊 一 福谷 勝 博 伏星 八 十 峯垣 内 康 森忠 利 山内 土 夫	井上 美 津 石緒 大 方 田大 崎 記 方河 合 純 大杉 本 与 河竹 口 志 本竹 昌 直 口東 條 為 本井 壯 一 平尾 紀 久 深沢 文 惠 藤井 笑 子 本間 一 仁 牧野 久 美 松永 久 子 三村 文 男 道旗 本 衛 安吉 年 郁
中25期 穂坂 正二郎	中36期 天津 通 夫 伊豆野 勝 且 川辺 將 宏 田中 宏 勳 高村 端 宏	中41期 武田 昭 郎 西嶋 宣 雄 藤田 仁 夫 船内 茂 俊 古谷 重 宏 星野 徹 二	併2期 内野 久 也 東田 等 夫 平見 松 夫	高5期 浅野 隆 小河 泰 二 小谷 千 鶴 社領 文 子 中野 四 郎 西尾 孝 史 伏井 壽 彦 牧恒 夫 子 松本 淳 力 南宮 敏 夫 森田 省 博 山 本 平 八郎	高7期 奥藤 利 子 佐藤 道 子 白土 陽 子 武田 啓 次 玉巻 章 宏 妻迫 行 康 西村 淳 子 原松 陽 子 溝側 惺 一 藪野 和 巳 愿山 田 舜 脇 田 佐 知子	高10期 浅原 浩 介 伊藤 惠 子 市川 節 子 岡田 貞 夫 岡林 淳 子 折口 負 子 片山 晃 三 新園 本 和 尾田 一 季 武田 純 成 辻野 純 二 十亀 芙 美 中嶋 昌 子 野末 洋 子 福田 能 子	高12期 井戸 敏 喬 伊東 明 子 賀須井 昭 平 佐野 満 智 佐藤 勲 雄 下村 紀 雄 辻井 公 彦 東井 清 彦 南 春 江
中30期 池田 利 雄 仲田 巖 巖	中37期 浦野 修 蔵 下村 雄 一 矢内 秀 一	中42期 合田 史 郎 中谷 昭 彦 松本 正 一	高3期 安藤 寛 稔 浅田 諄 淳 斎藤 登 美 仲野 安 之 西浦 美 那 林野 寿 美 日原 和 彦 三宅 昭 三 武藤 晃 晃	高6期 荒井 好 昭 岩崎 登 美 大河内 正 子 香山 誠 子 勝月 繁 雄 北野 喜 久 北野 正 子 北山 元 計 北山 信 夫 久保多 越 健 佐々木 寿 子	高8期 上堂 竹 壽 大堀 良 昭 清田 智 嘉 小山 加 代子	高11期 浅井 幸 子	高13期 井上 正 次郎 多田 千 代子 織田 壽 子 鈴木 佐 智子 竹村 忍 崇
中31期 宮阪 悦 次	中38期 伊藤 一 弥 石橋 友 一 岩田 男 夫 大北 正 治 岡田 親 明 塩野 德 夫 辻野 元 貞 彦	中43期 清水 昭 吾 田中 富 三 西田 逸 次 本城 光 春 矢野 正 幸 和田 昭 三	高4期 岡本 勝 次 小池 美 実	高4期 岡本 勝 次 小池 美 実			
中32期 西田 栄 次	中39期 岡田 昌 治 奥村 隆 彦 木下 孟 夫 楠本 秀 宗 高岸 本 繁 山本 繁 寛 横山 寛 寛	中44期 金銅 良 幸 華園 勝 文 松井 隆 隆					
中33期 山口 英 信							
中34期 奥本 茂 男 木口 勝 彦 土井 重 元 西岡 健 博 松本 博 博							

ミクロのファインメッシュ技術で、
ハイテク社会の明日をグローバルに織りなします。

アサダメッシュ株式会社

代表取締役 浅田 稔 (高3期)

創業・68年

事業内容：スクリーン印刷用、濾過用、
ふるい用、電磁波シールド用等、
各種金網の製作及び販売

〒580-0015 大阪府松原市新堂4丁目23番地7
TEL.072-334-0550 FAX.072-333-1299
http://www.asada-mesh.co.jp
E-mail soumu@asada-mesh.co.jp

永和証券

本社：大阪市中央区今橋1丁目7-22
TEL 06 (6231) 9311

羽曳野営業所：
羽曳野市白鳥1丁目3-12
TEL 072 (957) 5951

支店：東京・岸和田・阪南・生駒

取締役社長 片山通夫 (高7期)
投資顧問 伊藤雄二 (高24期)

株式会社

カオヤ

代表取締役 金谷 一彦 (高9期)

〒584-0093 大阪府富田林市本町19-19
TEL 0721-25-5000(代)

谷明世村上節子
辻野正彦勝雄
萩本野勝健子
萩納嘉子
吉岡史江

高14期
浅野末子
小川俊淑
大西義昭
加藤征治
喜田重由
佐藤原邦
田守邦彦
武谷忠彦
中谷禧博
根家幸子
藤原直男
山野勝三

高15期
同窓会参加者一同
青木道忠
芥川易代
上並三千男
碓井正訓
内田則洋
大山基壬子
大奥井綾子
木村茂美
阪口佳子
笹原哲夫
田中正弘
辻野紀代子
中西川重太郎
野浦五十次
藤三浦正彦

高16期
青木秀雄
飯田文子
石川泰子
北野多恵子
近藤久子
芝田修三
菅原弘宏
谷中口チ子
西矢正規
福村上知也
山田光

高17期
田中美知子
播本克昭
山下憲子
山本睦夫

高18期
今村徹雄
土橋哲夫
西野美智子
平岡弘直
福島永匠
宮本美津子

高19期
太田正文
武田文夫
辻深尾秀和
松井寛滋
山本和子
佐久子

高20期
石崎英男
久保公人
小杉俊作
花岡栄子
樋口百合子

高21期
同窓会参加者一同
石坂恵子
石原久嗣
越智千恵子
角高憲治
木下信二
高岡優二郎
仲谷薫寛
野田全作
藤井栄子
吉野谷順子

高22期
久保元嗣
楠本久美子
中谷健三
永田雄三
古川修

高23期
北野幸世
竹谷芳明
長嶺光生

高24期
安部孝文
大野泰徳
佐藤厚夫人
中尾和志
秦本間正恵
山内千恵

高25期
飯森郁子
内本務

鈴木哲雄
中本行則
仲野博文
古小路正之

高26期
上杉英子
梅野勢津子
大西雅子
岸本浩行
阪井基二
徳田雅文
南條光晴
水野智矢

高27期
石橋幸枝
北村益夫
辻本隆信
福松田洋明
道旗秀人

高28期
金井まゆみ
川口治義
貴小尾元嗣
小西村則子
西福田長司
藤松尾恵史

高29期
麻野浩保
尾崎真久
佐藤松和
高富田正文
中野和文
矢野寛

高30期
秋山浩二

岩根保誠
中山玄三
安川洋子

高31期
加藤要介
長崎美恵
西浦真由美
波津加代子
宮原恵子

高32期
飯塚剛浩
梅田浩覚
末吉千

高33期
京極輝子
五島信也
田中英二
松田敏博
和田憲生

高34期
中瀬由美
平山雄一郎
藤川幸一
松本由紀子
山本万里

高35期
印藤香織
梅田浩史
貴治由美
羽原美香
東尾尚之
三上寛治
三上紀子

高36期
東恭寛
岩本ひとみ
小林さつき
小口一也
田中勝理光

久野由美
高37期
北山高之
土居美幸
古川和宏

高39期
小河由実
小野直子
京師美奈
タータリオーネ有紀
諸澤久美子

高40期
佐藤佳世
重田育輝
藤田法子
松宮和美

高41期
大塚妙子

高42期
荒木美枝
深瀬祐子

高43期
呉羽栄治
野添慈子

高44期
勘崎睦子
岸沢慶多

高45期
匿名

高46期
赤松剛志
口池尚一
清水純美
中山林尚公

高47期
井上大輔

高49期
平岡和真

高52期
山瀬宏平

高53期
川喜多由博
佐藤達哉
谷和憲
辻本文香
本久美子

高54期
野邑浩子
浜田謙一

高55期
岸本一誠
近藤悟史
谷山薫樹
山瀬弘

高56期
北浦剛
谷美貴子
中野良

高57期
藤岡幹也
諸橋梨恵
山瀬敦子

高58期
岸本信二
二村悠輝

高59期
井沼佑太

定時制
高1期
大川千萬

高2期
内堀美津男

高4期
北野莊六
武田輝一
松葉起代子

高5期
木下和代

高7期
水谷好美

高8期
西田節子

高10期
向井勲

高15期
木内ツヤ子
西田幸子

高53期
今道節子

高55期
下大迫勲也

一般団体
富高もせ合唱団

良縁お世話致します

ブライダル・ナカノ

中野 繁子 (高10期)

中野友美子

〒546-0021
大阪市東住吉区照ヶ丘矢田1-6-23
TEL 06-6702-8624
FAX 06-7504-8394
携帯 090-4567-1972
E-mail: bridal-nakano@leto.eonet.ne.jp

大手前法律事務所

弁護士 辻 公雄 (高12期)

事務所 〒540-6591
大阪市中央区大手前1-7-31
OMMビル5階 私書箱68号
電話 06-6945-0308

自宅 〒583-0026
藤井寺市春日丘2-12-1
電話 072-954-2516

グループホーム
ゆめのうち
夢野家

入居条件
・認知症の方
・要支援2
～要介護5
終身介護致します。

◆グループホーム夢野家
大阪府南河内郡千早赤阪村水分 593-1
TEL/FAX 0721-72-0888

◆グループホーム夢野家II
奈良県橿原市東坊城町 197-3
TEL/FAX 0744-28-2929

◆http://www.eonet.ne.jp/~yumenouchi
代表 鶴谷文代 (高16期)

各期だより



各期の楽しい集まりの様子を
どしどしお寄せ下さい。

お待ちしております。

中
39
期

富中39期卒業生の

心をつなぐ「サンキュー通信」

山本繁雄

「サンキュー通信」は、大阪府立富田林中学校第39期卒業生（菊水三九会）の機関誌で平成16年から発刊し、今春4月第5号を発行した。私達の卒業年次は昭和19年3月、大東亜戦争と呼ばれた第二次世界大戦の真っ只中の卒業で、卒業式では、「海ゆかば水漬くかばね、山ゆかば草生すかばね、大君のへにこそ死なぬ、かえりみはせじ」と葬送歌のような歌を歌って巣立って行った。「一億総決戦」といわれた戦争末期の時代相そのままの卒業風景であった。

因みに、海ゆかばの作詞は万葉歌人大伴家持、作曲は信時潔（のぶとききよし）…同期生泰松卓君によれば、明治20年12月29日大阪生れ、山田耕祐と並び称せられる日本のクラシック音楽作曲家、市岡中学校から東京音楽学校卒業（現東京芸大）、その後同校教授、昭和12年海ゆかば作曲、戦時中第二の国歌のように歌われた。学長に推されたが、大勢の若者がこの歌を歌い戦場に散ったことを重く感じて固辞して受けず、文化功労賞受賞、芸術院会員、昭和40年8月1日77歳で亡くなったと云う。

卒業後、私達同期生は士官学校、海軍兵学校、予備士官学生や海軍予備学生など軍務についた人も多く、当時は国民兵役と云われて19歳で徴兵検査を受けたから、大部分の人が軍隊生活を体験している。しかし既に制空権は奪われ、輸送船舶も壊滅していたので外地へ派遣されることもなく、意外に戦争による犠牲者は少なく、戦後は夫々の自分の道を進み始めた。

私達同期仲間には大変医者が多いのも特徴で、医学生は兵役免除が与えられたことが大きく影響して、これも戦争の歪みが現れたものと云えるだろう。

卒業以来64年、私達はすでに齢81歳を数える老人達であるが、案外義理堅く結構30名ぐらいの友人が同期会に出席してくれて、毎回物故者に黙祷を捧げ、宴が果てると校歌を歌って旧交を温めている。

サンキュー通信は、もともと同期生の情報交換、ポケ防止などお互いに励まし合いながら楽しく余生を送ろうということで始まった同期会誌であるが、最初の内3号までは恩師清田之長先生が「なまずのたわごと」を連載して下さり、「なまずのたわごと」（3）を絶筆としてお亡くなりになった。

去年亡くなった同期生稲田隆正君が熱心に提唱して、今年までに恩師の越智先生、矢野先生、三上先生のお墓にも大勢の友人が詣でているし、今年も代表が熊本の清田先生一周忌祭に参列して弔問を果している。ここまで師恩に報いている同期会は少ないと思われる。

敗戦後の日本では国民の殆どがバラック生活、インフレ・物不足の地獄の生活を送り、闇市・買出し・食糧配給など、今では考えられない逆境に耐えてきた。そんな中を私達は祖国日本の復興を願い、夢中になって働いてきた。

ゼロからの出発と云われた日本の復興が、こんなに早く世界のトップに成長し、万国博覧会、東京オリンピック、新幹線、高速道路など目覚ましい復興ぶりは世界の不思議・奇跡といわれる経済発展をもたらした。

この経済発展、目覚ましい日本の復興は私達が黙々と働き支え、守りたててきた成果である。私達はもっと胸をはり、もっと声を出して自分の意見を述べて良いと思う。事実私達の同期仲間は、日本一の鉄道・近鉄副社長や薬大学長外大学教授、一流企業の重役等のほか、ライフワークとして人や技術・事業等を育てる仕事を果してきた。

今回発足した後期高齢者医療制度は75歳以上の高齢者だけで構成する医療保険で、高齢者は自分の医療は自分で負担せよと云うものである。

従来保険制度は充分な経営見込みで実施されてきた筈だが、私達はそれにもとづいて保険料も払ってきたし、今ここまで追い込まれてからではなく、制度が持ち堪えられないならどうしてもっと早く、見通しの誤りを認め根本的な対策が講じられなかったのだろう。世の中の仕組みは老・壮・青一丸で考える必要がある。私達だけのエゴで云っているのではない。この国の明るい未来の為どうあるべきかを皆で考えようと思っている。少子高齢化の少子も、将来の展望が開けない不安が原因と考えれば、同根の問題であるように思われる。

私達の仲間には81歳でなお個展を開いて作品を世に問いたという人がいるし、私自身もまだ現役で仕事を続けている。勿論病のため仕事を続けられない人も大勢いるが、手に合う仕事があれば仕事を続けたい人も多いと思われる。

歩かなければ段々歩けなくなるように、何もするなという境遇では健康は保てない。給料も高額なものではなく仕事の価値に応じたものでよい。

介護保険も大切だが、介護に頼らず自分のことは自分でやる気持ちも大切で、又健康もそれにつれてやってくる。そう云う意味で老人がやりたいことをやり、周りが支えてくれるような社会の仕組みを考える必要があると思う。

この「サンキュー通信」は発行のたび、富田林高校の菊水文庫に寄贈され遺されている。私達にすれば色々な思いの詰った小冊子「サンキュー通信」であるが、若い世代の高校生諸君が、現在81歳になる老人達の手記を見て、何かを感じ、何かを掴みとってくれないだろうか、何かの折に「サンキュー通信」に触れてみて私達の見果てぬ夢を思い起こしてくれることはないだろうか、子供のように熱く大きな夢をこの小冊子に託しているのである。

高
5
期

高5期同窓会報告

代表幹事 山本平八郎

平成19年9月29日(土)高5期同窓会を富田林市近郊有志の幹事により、前回開催と同会場のアポロビル「楓林閣」阿倍野店で開催致しました。

当日は、東京・横浜・富山等の遠距離からの参加もあり、また、今回は同窓名簿の整理に重点を置き消息確認に努めた結果、卒業以来の初参加者も多く、総数102名という盛会ぶりで、開会前の同ビル屋上での記念写真(即日配布)も男女分けての撮影となりました。

開会に当たり、まず今は亡き多くの恩師と同窓生のみなさまに対し黙祷を捧げ、故人との懐かしい思い出に耽りました。

開会後は、私の少し長い挨拶に野次も出ましたが、男女ペアの名司会者によるスムーズな進行で無事に会式は終わり、乾杯後の懇親の席では、ユーモアたっぷりの各人のスピーチで場内は和気藹々となり、各テーブルの料理と少量のアルコールで大いに盛り上がり、お互いの思い出話や近況に熱中し、既に古希過ぎし者たちが、まるで少年少女の世界に還ってしまいました。出席できなかった人たちの近況報告もさせて頂きましたが、残念ながら身体の不調の方が多くありました。ご養生を祈ります。また、前回から発足したゴルフ愛好者による「五希会」からの活動報告と参加者の呼びかけもありました。

開会に当たり、全員名残を惜しみつつ「富高校歌」を幾たびとなく繰り返し歌い、お互いの健康と再会を誓い合いました。

今回の開催について、色々ご指導ご協力頂きまして誠にありがとうございました。本誌面に於て幹事一同心より厚くお礼申し上げます。なお、今後も同窓生の消息や住所変更等についてお知らせ頂ければ幸いです。次回は平成22年2月2日天王寺東映ホテルの予定です。

以上、富5期同窓会開催の報告と致します。

高
6
期

『富久六会』折々の記

富久六会 山上静雄

我々高6期生は、母校創立50周年の昭和26年入学、同29年の卒業生です。

高6期生は、同期全体の会を3~4年に一度開催し、旧交を温めてきましたが、これは当日会場のみでの交流と云えましょう。

ところが卒業25年後の昭和54年、同期の方に不幸があり、それを機に「近くに居りながら年輪的にもお互いに義理を欠くことのないよう親交を密にしよう」との思いから富田林市内在住・在勤者で親睦の会を結成しました。

初会合を千代田の「割烹くわた」で開き、会の名称を29年卒の6期生ですから『富久六(フクロク)会』と知恵者(乾正君)が名付けました。

現在は会員のエリアも広まり、メンバーも36名を数え、春の総会に始まり、慶弔事、国内外旅行、ゴルフコンペ、忘年会等々親睦を深め約30年間、和やかな雰囲気での交流が続いております。

3年前から大泉逸郎氏の「これから音頭」を会のテーマソングに取り入れ、その歌詞を励みにしております。

全員健やか人生まだまだこれから！！

高6期生の新しい仲間(男女を問わず)のご参加を歓迎いたします。



H18. 4. 4撮影 総会25名参加(於:岸和田市 牛滝温泉 いやよかの郷)

高
21
期

卒業40周年—高21期生の近況報告

高21期 澤田勝一



全高21期生の第4回学年同窓会が、8月10日(日)に開催されました。盆前の忙しい時期にもかかわらず、天王寺東映ホテルでの1次会には、藤澤、以倉、磯田、棚橋、松原、羽間各先生のご臨席を賜り、103名の同期生が参集。しばしの間「富高健児・富高少女」に戻り、時を忘れて飲み、食べ、歌い、語り合いました。アサヒ・ビア・ケラーの2次会には80名が参加し、こちらも予定時間を大幅に超過する大盛会となり、4年後の再会を約束して散会しました。私達全高21期生は、来年3月で卒業40周年を迎えます。40年前、世の中は高度経済成長期のまっただ中でした。一方、海外ではベトナム戦争が泥沼化し、学園紛争が各地の高校にも飛び火していました。幸いな事に私達はこうした世間の風に影響されず、先生方の叱咤激励や東大入試の中止にもびくともせず(?)青春を謳歌しておりました。あれから40年、みんな素敵に年輪を重ねましたが、「仲良く、楽しい、21期生」は今も健在です。春と秋の「21期ゴルフコンペ」は今秋で28回目を数え、女性の参加者も増えつつあります。また、毎年11月の最終土曜日には忘年会を開催しています。さらに4年前からホームページを立ち上げ、これらのイベントの連絡や個々の近況報告などに利用しています。

なお、今回の学年同窓会は4年ぶりの開催でしたが、この間、同期生の中から二人の首長が誕生しました。平成18年4月に、武田勝玄君が「改革」と「創造」を政治信念に掲げて河南町長に当選。また、本年7月の河内長野市長選挙では、芝田啓治君が激戦を勝ち抜き当選しました。厳しい大阪府の財政状況の中、二人が協力して今後の南河内地域の発展に邁進されますよう、同期生一同大いに期待し、応援して行きます。



高
30
期

8月10日(日) 高30期同窓会

13:00 ~ 学校にて 昼の部 出席約60名
奥村功先生御出席

18:00 ~ 道頓堀ホテルにて 夜の部 出席約70名
渡辺文一先生、藤沢元子先生御出席

卒業後30年ぶりに再会した人もいて、会は大いに盛り上がりました。



高
41
期

富田林高校41期卒業生第1回同窓会 開催！
『全ての同窓生にありがとう。』

同窓会執行部代表 貝原充保

【入学は昭和・平成最初の卒業生 卒業から20年、みんな集れ!!】
是を合言葉に同窓会執行部を立ち上げ、準備を始めたのが昨年末、それから8ヶ月...

まずは名簿作りから始まりました。業者などを使わず卒業時に決めたクラスの同窓会委員の方々の協力を得て、一人一人に電話をかけるという作業。41期はA～L組の12クラス600名近い卒業生数であったため作業は難航しました。そして、41期HPを立ち上げるなど、あっという間の8ヶ月でした。そうして迎えた8月16日卒業生213名・先生7名の計220名が新阪急ホテル紫の間に集合しました。ご臨席いただいた先生方はクラス順で土井淳司先生・今中武夫先生・塚口倫生先生・我那覇保先生・森栗弘美先生・藤田佳正先生・西村直男先生で、まず先生方を代表して挨拶をしてくださった我那覇先生の第一声が、「はい、みなさんこんにちは！」20年前の授業と同じセリフに一気に皆の緊張がとけ歓声が上がりました。そして乾杯の挨拶は、いぶし銀の今中先生がシンプルにまとめてくださり会がスタートしました。我那覇先生が3年間撮りためてくださった写真より作成したスライドショーや、クラスごとの写真撮影と会は進み、2部制だった会の中締めは、我等が紅一点森栗先生の「あんたら最高!!」の言葉で、盛り上がり1部終了。ほぼ帰る人がないまま2部に流れ込み、こうして、あっという間の3時間が終了しました。



私達は今年38歳、これからも歳をとり続けます。でも変わらない事は皆、富校の同窓生と言う事です。何年後かわかりませんがまたいつかただ無心に笑い、お互いの無事を喜び合える仲間に出会える場所として41期同窓会は存続し続けます。

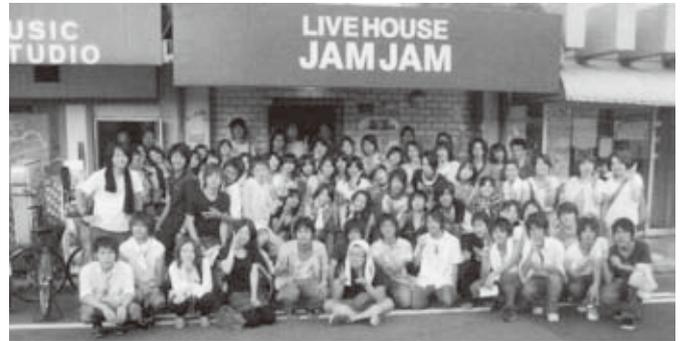
軽
音楽

『年の差7年という枠を越えた交流会』

『第二回 富田林高校軽音楽部同窓会』

高55期 北村俊樹

2007年8月18日、藤井寺のライブハウス“JAMJAM”にて、2年連続開催となる『第二回富田林高校軽音楽部同窓会』が開かれました。軽音楽部生の御用達であるこのスタジオにて、世代を越えたライブを行いました。現役生と卒業生を含む、55～62期生が集まり、多くの人が初顔合わせとなりましたが、青春、音楽という共通点により、7年という垣根を越えた一体感が会場には溢れていました。富高では直接会うことのなかった後輩たちと、こういった機会を通して交流できるという事は非常に有意義なものであり、また、初めて会った後輩たちに先輩と呼んでもらえたりすると、富高の良さを改めて実感する事ができました。軽音楽部を含め、それ以外の富高に関わるあらゆる組織の中で、このような会が今後多く開かれることを願っています。



も
も
せ

富田林高校「ももせ合唱団」から報告。

- ・ 昨年の10月26日(金)「リックはびきのホール」に於いて、ももせ合唱団として初の単独演奏会を開催いたしました。
- ・ 当日は、あいにく激しい雨が降っておりましたが、開会前から雨が小降りとなり、635名もの方々に入場いただき、超満員の状況の中での演奏会となりました。また、演奏終了後も多数の方々から賛辞を頂戴いたしました。
- ・ 演奏会は、家島健先生(全5)の指揮、京極輝子先生(全33)と岡林純香先生(全40)の伴奏により、第一部は「おおさか風土記」全5曲を混声合唱、第二部は中納俊夫先生(全8)のテノール独唱に続き、京極先生のピアノ独奏、そして、「源田俊一郎編曲のホームソングメロディー」および「宮川泰 懐かしのメロディー」と題し、我が母校卒業生の宮川泰さんの曲、「若いってすばらしい」「銀色の道」「恋のバカンス」「宇宙戦艦ヤマト」の4曲を混声合唱しました。また、最後にご来場の方々と一緒に富田林高校の校歌を大合唱、会場は割れんばかりの拍手の中、演奏会は終了しました。
- ・ 本演奏会の開催に際しまして、同窓会の皆様には、事前準備の段階から、種々ご支援・ご協力を賜り、また、当日は、立派な飾り花を頂戴いたしましたうえに、越井会長を

はじめ多数の役員の方々のご出席をいただき誠に有難うございました。

- ももせ合唱団といたしましては、今後も母校卒業生の宮川泰さんの曲を常時演奏曲目に組み入れながら、隔年を目途に演奏会を継続し開催していきたいと考えております。第2回目の演奏会を平成21年11月7日に開催を予定しており、現在、練習に励んでいるところでございます。第2回演奏会も前回同様多数の方々のご出席いただきますようお願いいたします。
- 富田林高校、富高同窓会の皆様、今後ともよろしく、ご支援いただきますようお願いいたします。
- なお、コーラスに興味のある方、会員募集中ですので、この機会にご一緒に歌いませんか、本当に楽しいですよ。基本的には、第2、第4土曜日、2時～4時、富高同窓会館で行っています。見学可能です。(新規入会等に係るお問い合わせは、0721-25-2938 村元まで。)



第1回 富田林高校 ももせ合唱団演奏会 2007年10月26日 於 LIC はびきの ホールM

念演奏会にてパリ アテネ座で「道成寺物語」のタテ鼓として出演、11月、12月にもいくつかの公演が予定されています。



井上 正崇 大阪工業大学学長 高15期



氏は、1973年大阪大学大学院工学研究科電気工学専攻博士課程修了、1986年に大阪工業大学工学部教授に就任され、2005年大阪工業大学工学部長を経て、学長に就任されました。半導体における電子輸送、光物性とデバイス応用に関する研究に従事され、日本の科学技術発展のために各種の委員を務められ、力を尽くされています。また、大阪工業大学に於いては、全国初の「知的財産学部」を設けられ、最先端の技術者を育てるとともに、その知的財産実務のプロも育成するという、今、最も求められている分野に力を尽くされています。



松井 幸子 高15期

氏は学生時代より長年に渡り、油絵を描き続けられ、多数の作品を残されています。平成12年には東京で二元展佳作賞を受賞され、平成17、18年と同じく東京で二元展佳作賞を受賞されました。今年は大阪市教育委員会賞第一席を受賞されています。



松井幸子 LA PAIX II

同窓生登場 !!



望月太津三郎 (本名：漁 義和) 高10期

氏は昭和34年に京都の太鼓方 二世元中村寿鶴師の内弟子となり、松竹大歌舞伎の一員として活動をし、昭和49年現在の名を襲名される。記念曲「風流三番叟」を発表、その後、市川團十郎、中村勘三郎、坂東三津五郎等公演に於いてタテ鼓を勤め、平成12年に創作集団「夢玄」を結成。公演活動とCD制作を行い、今年3月には、日仏修好150年記

株式会社

石駒

代表取締役 辻 秀和 (高19期)

本店 大阪府河内長野市本町17-18
TEL 0721-52-2521
HP <http://www.ishicoma.co.jp>

ノバティ南館 駅前店
TEL 0721-55-1016

アニマル・レスト・ガーデン
-英国風ガーデン動物霊園 直営-
和歌山県橋本市隅田町中島1057-7
TEL 0736-36-8898
HP <http://www.1.odn.ne.jp/arg/>

酒菜亭 **丸福**



福谷 登 (高22期)

駐車場完備 小宴会 パーティー承ります
河内長野市本町12-15 TEL/FAX 0721-56-4291
定休日 毎週水曜日 営業時間 11:30~15:00 17:00~23:00

緑のまちに
クリーンな天然ガスを
供給しています



河内長野ガス株式会社

〒586-0025 大阪府河内長野市昭栄町14番31号
TEL. (0721)-53-3561 山本明彦 (高24期)
<http://www.naganogas.co.jp>

思い出

思い出

中28期 昭和八年卒業 伏井猛朗

私達は昭和三年四月に大阪府立富田林中学へ入学しました。今年九十三才で生存者も少なくなりました。すっかりボケ老人になりましたが在学当時のなつかしい思い出を記します。

昭和三年入学早々河内長野市、南海高野線千早口駅から1km南西の「地藏寺」の山林を借りて杉、桧苗三本ずつ植えました。これは昭和天皇即位御大典の記念行事でした。生野中学もこの山へ植林して両校とも大変な収益を得ました。府下では珍しい50mの大きなプールも此頃作られました。土建業千福亀松さんの夫人が着物姿で、飛込台の下の深い所の土を掘り揚げている作業員を指揮していました。

プールは昭和四年三月竣工。茨木中学から代表生徒が模範泳法をみせてくれました。私達は先輩の植えてくれた葛城山959.7mの頂上からカラマツの杭を運びました。これでプールの垣が作られました。プールが出来るまでは泉南の樽井海岸で水泳の宿泊訓練があり私も参加して平泳で800mの認定書をいただきました。山家育ちの私にとって楽しかった思い出です。

篠原先生の夏の宿題は鉱物採集でした。先生は東大で地質学を修められたとかで、一年生の地理の時間に「埋れ木」の話し等頭に残っています。級友の奥野資明君と生野銀山へ行き坑内を見学し、水晶や黄銅鉱などの珍しい鉱石を拾って帰りました。地理が好きで天師でも地理学を専攻しました。明治時代の地図(陸地測量部)のもので当時の産業(土地利用)がよくわかるものを沢山買いました。戸田豊三郎先生は国語科で「落花の雪に踏み迷う片野の春の桜がり…」の調子のよい道ゆき文を暗誦しました。しかし富中教育の中心、大楠公精神を植えつけた太平記の一部であること幼稚な私は気がつきませんでした。広島では儒学概論の講義を拝聴したり、中国五千年の漢字の歴史をまとめた「説文解字」の本のあることを教えられました。現在も京都大学でこの研究が続いています。



写真説明

昭和三十九年に二十八期生の同窓会をしてもらいました。前列中央が和服の花房俊静先生(英)。その右側は博物の池田勇

治郎先生で夏休の宿題は植物の標本作りで沢山おし葉の標本をつくりました。一年の博物の成績は落第点で父兄宛にしっかり勉強させるように」と通信簿に残っています。真銅甚策先生、その左は篠原影山、芝池先生とならんでおられます遠方の戸田、影山先生は私の家で二泊。中央最後列の北尻君後の日弁連会長がPLの花火の一番よい席を買ってくれました。花房先生の後のお相撲さんは仲谷正夫君この頃、沢君がいて日本一強い学校でした。

校歌の思い出

高6期 荒井好昭

今年の三月NHKテレビで、全国小・中・高校の感動の校歌の物語を放送していましたが、私にもほろ苦い校歌の思い出があります。

私が富田林高校へ入学したのは昭和二十六年の春でした。あこがれの富高で見るもの聞くものみな新鮮で心躍る毎日でした。その内のひとつが、皆さんもご存知の富高校歌でした。

朝に仰ぐ 金剛の峯

夕べに渡る 石川の水

あゝ麗し あゝ麗しき南河の国地

この自然をば 朝な夕なに学びてん

明治三十四年(一九〇一年)創立の歴史ある高校ですから富中時代から歌い継がれて五十年を経っていましたが、少しも古臭くなく南河内の自然を謳歌した格調高い校歌でした。

ところがこの校歌いつの場合でも一番しか歌われないんです。変だなと思っていたのですが、やがてその意味がわかりました。二番の歌詞の中に

あゝ偉なるかな 吾等の祖先

いでや学生 我も御国の男の子なり

とありました。戦前の富中は楠公父子が勇名を馳せた南河内の地に誕生した最初の男子校であり「質実剛健」がその建学の精神であったと聞いております。この二番の歌詞はそんな校風が感じられるもので、戦後男女共学になった新制高校にはそぐわないものになっていました。

私が、三年生になった時、選ばれて生徒会の会長になり日頃の思いをぶつけて色々改革を進めていました。新校歌を作りたいと思ったのもその時でした。早速生徒会の役員会に計り、皆の賛成を得ました。ただ顧問の先生から「校歌は長年に涉り先輩達が後輩達に伝えて来たものだから、愛着もあるだろうし、やはり先輩達に納得してもらおうのが先でしょう。」と言われて、それもそうだ、当時同窓会の役員をしておられた先輩方を学校へ招いて、私達の思いを聞いてもらう事になりました。

私は一番だけしか歌えない校歌は物足りないこと、二番の歌詞は男女共学の現在通用しないことなど、一生懸命説明しました。その時出席の先輩の皆さんは頭に白いものも見え、六十歳を越しておられたと思います。先輩から見れば私達は孫の様に見えたことでしょう。その中の一人が口を開かれました。

「君達の言うことは、もっともなことだと思います。この時代だから新しい校歌がほしいでしょう。しかし、私が現在、生き長らえてこられたのも、この富中校歌のお蔭とも言えるのです。当時私は支那事変（日中戦争）に召集を受けて広い満州（中国東北部）を転戦していました。行けども行けども山蔭ひとつ無く、果てしなく続く平野。陽が沈めば敵の標的にならぬ様、明りを消した天幕。行軍と野營の繰り返しに疲れ切った体を横たえて生きて行く気力も失くす様な毎日でした。そんなある夜、はるか彼方から「富中の校歌」が聞こえて来たのです。顔も名も知らないが友軍の中に富中の卒業生がいたのです。先輩が先輩が分からないが、我が同郷の友がいたのです。その時私の体内に沸々と生きる気力が湧いて来ました。よしどんなことがあっても生きて祖国の土を踏むぞ。校歌に勇気付けられた私は心に固く誓いました。お蔭で私は長い大陸での戦争から無事日本に帰って来ることが出来ました。それを思うにつけ、出来れば校歌をこのまま残して戴けないだろうか。私達卒業生はそれぞれ思いは違っても、この校歌に愛着を持っています。」先輩の話が終わった時、私達は黙りこんでしまいました。

一番先に新校歌を作ろうと言い出した会長の私が一番感激してしまって「先輩のお話に感激しました。五十年の歴史を持つ校歌だと言うことがよく分かりました。新校歌を作る計画は考え直します。」と、出席された先輩方に頭を下げました。若さ故の勇み足と言うべきでしょうか。新校歌作成の計画は呆気な

く幕切れとなりました。こんな言い方をすれば穏やかでないとか叱られそうですが長い人生経験を持っておられる先輩方は役者が一枚も二枚も上でした。

今も校歌を歌う機会がある度思い出す青春のほろ苦い思い出です。

この話には後日談があります。やはり校歌は新しく作られたのです。先程の話から三十年後、創立八十周年記念行事の一環として全在校生から歌詞を募集して、応募作品の中から選り二番、三番が新しく追加されました。その際先輩方を招いて意見を聞いたかどうか不明ですがまあメロディは変わっていないし、一番の歌詞はそのまま生かされている訳ですから、沢山の先輩の皆さんにも同意は得られるのではないのでしょうか。第一、今の在校生に支那事変とか満州の大平原での野營と言っても通じないでしょうし、若者達の心意気を受け入れてあげてもよいでしょう。創立八十周年当時の新校歌作成委員の諸君の苦勞話もこの「菊水郷」の紙面でお目にかかりたいものです。ただし、流麗な歌詞で歌い易かった旧校歌に比べて、追加された二番、三番の歌詞は肩に力が入っていて流麗とは縁遠く私達卒業生にはなじめない感があります。「校歌」と言えば、富中時代の先輩方は旧校歌のまま二番迄でしょうし、私達の世代は一番だけだった旧校歌です。創立八十周年以後の若い後輩達が新校歌で三番迄歌い上げることでしょう。(完)

創業 94 年

 住宅性能保証制度登録者

建築・土木・設計・施工
リフォーム工事一式
不動産業全般

株式会社 内本工務店

CEO 内本 務 (高25期)

〒583-0885
羽曳野市南恵我之荘5丁目2番1号
TEL 072-955-1462
FAX 072-939-9362
<http://www.uchimoto.co.jp/>

サントル・ドゥ・ヴィラージュ

手作りのパン&ケーキとおしゃれなレストラン
《年中無休 am9:00~pm20:00 (LO)》

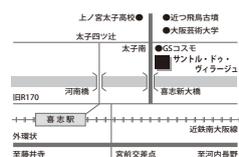
隣は姉妹店 **和ダイニング 蘭**
(ランチタイムのみ営業)

ご予算に応じた各種パーティーも承っております

結婚式の2次会、同窓会、歓送迎会など8~60名まで
お料理は和、洋、和洋折衷等、カラオケ、送迎バス、あり

吉田 豊 (高25期)

〒583-0995
南河内郡太子町太子307
TEL: 0721-98-5865



お墓のことなら
墓地・御石塔

全優石
全国優良石材店

(株) 翼 石材店

代表取締役 翼 照幸 (高26期)

富田林市喜志町2丁目1-22
TEL 0721-23-4529
フリーダイヤル 0120-33-6007

小・中・高
教科書販売店
学習参考書
多数取揃え

松田 頌文堂

松田 洋明 (高27期)

富田林市谷川町2-25
(富田林高校前)
☎0721(24)1885

四季の日本料理と天然ラジュウム泉

 あまみ温泉
南 天 苑

—— ご宿泊・お食事承ります。 ——

〒586-0062 大阪府河内長野市天見158

TEL 0721-68-8081
URL <http://www.e-oyu.com>
E-mail nantenen@e-oyu.com

山崎 友起子 (高30期)





男子バスケットボール部

高58期 近藤龍彰 (元バスケットボール部主将)

今でもその光景が浮かんでくる。パッシュがフロアにこすれ、ボールがはねてリングに入る。チームメイトの励ましの声が聞こえ、マネージャーの吹く笛で練習が再開する。バスケットボール部の思い出は、簡単に取り出せる軽やかなものであると同時に、ひどく重たい質量を持ち、私自身を確かに支えている。

高校1年生の時、バスケ部に入った。他のクラブに迷うことなく、はじめから決めていたことだった。その時の3年生はその年の春先に引退したので、実際の思い出は一つ上の2年生との関わりの中でできたものが多い。コーチはいない。全部自分たちで考え、行動する。ある意味最も富高生らしい活動だった。練習は楽しく、友達ができた。高校生活の中心がバスケットボール部になった。朝早くに体育館に行き、朝練をした。昼休みもそこそこにまた体育館に行き、昼練。午後からはもちろん全体練習をし、土日も部活で忙しい。練習後は学校近くの駄菓子屋にたむろし、休日にはチームメイトと食事に行った。

はじめてユニフォームをもらった時のうれしさは今でも覚えている。自分の名前を呼ばれた時、他人の名前だと思った。そこから一年、あっという間に上級生は引退し、自分たちの代がきた。

私がチームのキャプテンになった。「キャプテン」、重苦しい響

きだ。自分の能力は分かっている。正直自分よりうまいやつなんていくらでもいる。それでもチームを引っ張っていかなくてはならない責任。がむしゃらに練習し、ひたすら声を出し、つらい練習を率先してやった。弱みは見せられない。自分がぶればチームがぶれる。その姿勢が伝わったのか、みんなついてきてくれた。その事には今でも感謝している。

自分たちの代になってしばらくしてコーチがきた。顧問の先生の知り合いの方だ。チームが変わった。今までとは違ったバスケットの見方・考え方を取り入れた練習に、素直に感動した。これならいける、勝てるチームになる。バスケットがより好きになっていった。しかしそれがチームの亀裂を生むことにもなってしまった。試合に出られない、練習がおもしろくない、自分たちの考えが無くなっている。楽しいクラブが楽しくなくなったと言う声が出てきて、一年間共にしたメンバーが次々とフロアから姿を消した。自分の力の無さを感じた。

それでもついてきてくれるメンバーがいる。後輩がいる。支えてくれるマネージャーがいる。彼らのおかげで、バスケットを続けられた。高校生活最後の試合、試合終了のブザーが鳴ったとき、最後のフロアに自分が立っていた。それが何よりうれしかった。

私は大学でもバスケットを続けている。今まで見えてこなかった世界がまた開けだした。しかし、あの熱い気持ちでバスケットボールに向き合うことはもうないだろう。高校生活ほぼ三年間を費やしたバスケ部のつらさ、そして楽しさ。それらが今でも私の中心にあって、確固たる「これからの私」を作り上げていく。

女子バスケットボール部

部活動の思い出

高54期 河野智世

青春の汗と涙と体育館！高校生活の喜怒哀楽はバスケ部で経験したといっても過言ではないでしょう。練習してきたプレーがコート上で発揮でき試合に勝った喜び。練習のしんどさなどに自分が負けてしまい怠ける気持ちが出てきたり、何度も同じ失敗をしてしまった時に先生や仲間が怒られたこと。逆にそんな仲間が厳しく言うことも。練習しても習得できなくて悔しくて泣いたこともありました。そんな感情を部員一人ひとり味わうことができる厳しい部活でした。

『部活動の思い出』で思い出されるのは合宿です。毎年、夏休みの前半にあるのですが、先輩が引退し、私たちの学年がクラブを引っ張っていくようになった年の合宿はいまでもよく覚えています。練習を先輩方のようにうまく引っ張ることができず、ダラダラとなってしまって先生やOGの先輩に怒られ、夜は次の日の練習内容をみんなで話し合っているうちに寝るのが遅くなってしまったり、またまた先生に怒られたり、と怒られっぱなしの合宿でした。私はキャプテンだったのですが、頼りないキャプテンだったの



で、練習のことで先生や先輩に怒られるたびにみんなでミーティングをし、「次はこれをがんばろう！」とみんなで確認をして練習に取り組んでいました。

そんな合宿を経て、日々の練習をしていくうちに先輩方に負けられない厳しい雰囲気での練習ができるようになりました。相変わらず先生にはよく怒られるチームでしたが、先輩にほめてもらえることも多くなりました。それは誰か一人だけが頑張っているチームではなく、一人ひとり頑張り、支えあうことができるチームになったからだと思います。私たちが引退の時、厳しかった木下先生に「みんながチームで良かった。」と言ってもらったとき、頑張ってきて良かったと心から思いました。

みんなとは今でも連絡を取り合っています。3年間の部活動で辛いこともありましたが、最高の仲間と頑張る気持ちを学ぶことができました。

女子バスケットボール部顧問

現在、2年生3名、1年生6名、2年生マネージャー1名の部員10名で、先輩たちから引き継いできた伝統を守り、練習メニューも自分たちで工夫してがんばっています。



バトン部

バトン部を通して得たもの

高58期 松原道子

バトン部の思い出 — それは、私の富田林高校での生活そのものです。辛いことも嬉しいことも、バトン部によって経験し、バトン部のおかげで成長することができました。今思えば、バトン部があったからこそ、私の高校生活が充実して輝いたものになったと思います。

バトン部との最初の出会いは、友達と何気なく参加したクラブ体験でした。優しく教えてくださった先輩方にひかれ、「ここにしよう」と決めました。まさか私の高校生活がバトン部一色になるとは、このときは思いもしませんでした。

入部して一番驚いたのは、練習量の多さでした。大会や学校行事などに向けて、ほぼ毎日練習が行われました。しかもバトン部の練習場所は屋外だったので、夏は太陽が照りつけ、冬は北風が吹き、そのなかで朝から夕方まで練習するのは本当に大変で厳しいものでした。しかし、大会や学校行事での発表を終えた後は、それまでの苦労がすべて達成感と喜びに変わりました。舞台上で練習の成果を観客の人々にみていただくあの気持ち良さは、今でも忘れることができません。

舞台上で皆と一つになって踊ることは本当に楽しいものでしたが、同時に辛いことも沢山経験しました。技がなかなかできなくて皆の足をひっぱったときや、怪我をして練習に参加することができなかった

きは、悔しくてとても落ち込みました。そんなときは、いつも部活の仲間たちや先生方がアドバイスや励ましをくれ、前向きな明るい気持ちにさせてくれました。辛かった出来事があったからこそ成長することができ、人のあたたかさに気付くことができたと思います。

バトン部での活動を通し、私は様々なものを得ることができました。体力、根気、集中力、協調性……。中でも、一番得ることができて良かったのは、苦楽を共にした、かけがえのない仲間たちです。バトン部の仲間たちと楽しく過ごした三年間は、今も私の活力になっています。

これから社会に出て、厳しいことや辛いことに会っても、部活で培ったバトン部スマイルで乗り越えていきたいと思っています。

バトン部顧問

今年の新チームは、昨年と違って楽しさを持つチームです。辻芽久美コーチの指導のもと「大奥」をテーマにした作品を練習しています。昨年点数差で手にすることができなかった幕張メッセでの全国大会に出場するために36名力を合わせて練習しています。応援よろしくお願いします。



陸上競技部

高35期 小澤千晶

陸上競技と出会って長い月日がたちますが、そのきっかけを作ってくれたのは、富田林高校陸上競技部です。

合格発表の日、西口駅から裏門に通じる道をどのクラブも新入生獲得のために、ピラやチラシを配って、勧誘合戦を繰り広げていました。陸上初心者私たちが中学の仲間とともに、陸上部の門をたたいたのは、それからまもなくのことでした。先輩、後輩和気藹々と、とても温かい雰囲気の中で新入生を迎え入れて頂き、高校生活＝陸上生活の3年間はスタートしました。

私たちが入部した当時は、広いグラウンドから、清流石川が、その後ろには二上山、金剛山、葛城山を絵画のように仰ぎ見ることができ、南河内特有の恵まれた自然環境の中で、毎日練習をしていました。また、旧校舎前に植えられていた桜の木を目標に、100mを走り抜けていたことは今でも印象深く残っています。その頃の富高陸上部は、昭和48年に赴任された伊藤先生のご指導のもと、毎年、近畿、全国大会に出場するという競技力に優れたチームでした。昭和54年110mH、55年100m、56年ハンマー投げ、と連続して全国大会に出場していました。そんな先輩方を身近に感じていたこともあり、初心者の私たちがいつしか「近畿、全国インターハイに行きたい」という思いが強くなり、大きな目標となりました。高校2年の皇子山で行われた近畿インターハイでは、男女100m、110mH、ハンマー投げ、といった多数の個人種目のうえに、男女の4×100mリレーが出場できたことは、チームとしても大きな喜びでした。歴史ある近江路をマイクロバスに乗りながら、みんなでワイワイ、ワクワクと行ったことを覚えています。準決勝で敗れたものの来年への手応えを感じた私たちは、「来年の夏は、リレーで全国インターハイへ」という思いがますます強くなりました。今でもそうですが、公立高校がリレー種目で全国大会に出場することが難しい時代でしたので、なおさら、成し遂げたいという思いがありました。みんなが一つの目標に向かって一生懸命に頑張っていたあの



大阪ジュニア大会

頃が、とても懐かしく眩しく思います。残念ながら、夢は近畿大会の決勝で敗れてしまいました。「あと、一步…」という残念な気持ちはありましたが、むしろその思いがのちの自分自身の原動力になったように思います。何よりも、陸上を通して得たものは、それ以上の宝となって今日に残っています。顧問の伊藤先生とは、同じスターターとして高校生の大会に携わらせて頂き、2年前の大阪総体では、一緒に全国の高校生のためにピストルを撃たせて頂きました。高校時代に果たせなかった夢を違う形で実現したような思いがあります。また、一緒に時を過ごした仲間とは今でも良き友人、生涯の友となり、「富田林AC」というクラブチームを作るとともに陸上に関わっています。選手としてインターハイに行くことはできませんが、教師として教わる側から教える側の立場となった今、あの頃の夢を、熱い思いを次世代につないでいけることに、大きな喜びと深い感謝の思いがあります。

富高を離れ、他のチームの顧問となって久しいですが、母校の名前がアナウンスされるたびに熱い思いが胸をよぎります。同じ競技場に立つ者として戦う気持ちと、OBとして富田林高校陸上部の活躍を願う二つの熱い思いで、これからも応援させて頂きたいと思っています。

本年度の陸上競技部活動の現状

陸上競技部顧問 大塚 力

本年度1、2年生の活動は非常に好成績を残しています。大阪高校総体地区予選は女子部員全員が通過し、中央大会への出場権を獲得しました。

また、2年生松江愛奈さんは、女子棒高跳びで近畿陸上競技選手権大会出場権を獲得しました。

富高レポート

勉強にクラブ活動に学校行事にと、富高生は関連に行動しています。本年4月から8月まで、学内での出来事をトピックス風にお伝えします。

教頭 中井雄三

・ソウル外国語学校生、富高を訪れる

〈5月16日(金)〉

ソウル外国語学校の生徒約80名が来校し、交歓会を開きました。放送部生徒が司会を担当し、ダンス部とバトン部が演技をしました。途中ハングル語を話せる2年生の生徒が飛び入りで挨拶をし、私たちを驚かせました。韓国の生徒たちは徐々にうち解けてきて、男子生徒が歌を披露し、女子生徒2名がブレイクダンスを踊りました。その後、歓談の輪がこちらこちらで生まれ、アジア人同士馴染むのが早いと感じました。

・ペナント、体育祭

〈5月20・21日、6月30日〉

富高生が春の最大の楽しみにしているペナント(球技大会)と体育大会が天候にも恵まれ、盛況に行われました。

ペナントでは、クラス毎に工夫を凝らした衣装がまばゆく、全校生が集めた開会式は極彩色で美しかったです。競技においては、体育祭も含めてルールを良く守り、力の限りスポーツに打ち込んでいました。結果は3年生の圧勝でした。

秋の文化祭も含めてこれらの学校行事は富高生共通の思い出になるものと思います。

・越井同窓会会長、1年生に講演をする

〈6月19日(木)〉

1年生職業理解講演会において、越井同窓会会長に講演をして頂きました。タイトルは「気力」。会長ご自身が悲しい体験から立ち直ったとき、きっかけになった励ましの言葉、また、実話に基づくNHKドラマ「フルスイング」を通して、人生における気力の大切さを教えて頂きました。山本五十六の訓辞「気力に缺(か)くことなかりしか」が印象に残っています。会長の元気の源を知り得たように感じました。

・宮本弘子氏、PTA 講演会で講演

〈7月12日(土)〉

宮本様はサッカー選手宮本恒靖氏のお母さんで、恒靖氏がサッカーに打ち込んでいく過程から現在の姿まで、子育てという観点で話されました。思うに、“もっと勉強して”とか“プロになるの”とか親としても悩みはあったと思うのですが、息子さんが活躍し、日本代表チームで類い希なリーダーシップを発揮する息子をみて、そのような迷いは吹っ飛んでしまったんだと感じました。すばらしい息子さんでうらやましいです。

・リートン高校へ語学研修

〈7月28日から8月11日〉

毎年、同窓会の援助で実施しております語学研修で、本年は16名の生徒がオーストラリアのリートン高校へ行きました。生徒たちは、2週間の学校生活とホームステイを通して貴重な体験をしてきました。語学研修では、教員の旅費を同窓会から援助していただいております。おかげさまで無事終えることができました。ありがとうございました。

・「タベの会」を開催

〈8月1日(金)〉

富高では社会貢献活動の一環として、学校としてまた生徒会として、ミャンマー・四川被災地への街頭募金活動をするなど救済活動に取り組んできました。

学校の取り組みの一つとして、募金を頂いた方を中心に「タベの会」を開き、一部では地震への危機管理及びミャンマー留学生の話聞き、二部では富高の屋上からPL芸術花火を鑑賞しました。

・新ALT 赴任

〈8月22日(金)〉

ネイティブの外国語指導助手(ALT)として、Casey Sean(ケイシー ショーン)氏が新たに赴任しました。富高としては初めての男性のALTで、ナイスガイです。彼自身山口大学に1年間の留学経験があり、日本語もある程度しゃべれます。これから、富高生の英語力アップのために尽力して頂きます。

事業紹介

最後になりましたが、前述の語学研修以外に同窓会の支援により実現している事業を紹介してお礼に代えさせていただきます。

☆代々木ゼミナール DVD 使用許諾権購入 (本年初めて実施)

国語、数学、英語のセンター試験テストゼミのDVDを購入しました。学内であれば何度視聴してもよいので、夏休み以降積極的に活用していきます。

また、この購入により、代々木ゼミナールの模擬試験を校内実施する場合、受験料が無料になりました。全学年とも、PTA主催で業者テストを学内実施します。

☆土曜セミナー

在校生が土曜日に学校で自学自習できるように、自習室を開放しています。そのとき、卒業生を講師として配置し生徒の質問を受けています。その講師料を援助していただいております。



9月13日、14日に開催します文化祭の演劇の練習風景です。3年8クラスの演劇はなかなか評判がよく、公演されます富田林公会堂がいつもあふれかえり、喜びの悲鳴を上げています。



タベの会



土曜セミナー



リートン高校へ語学研修



すこやかな、おいしさ。

CHOYA

チヨーマ酒株式会社

平成十九年度 卒業生進路状況



国立大

圏	大学名	現役	浪人	合計
近畿	京都大	0	0	0
	大阪大	0	2	2
	神戸大	0	2	2
	京都工繊大	3	0	3
	大阪教育大	12	2	14
	奈良教育大	1	0	1
	京都教育大	0	0	0
	滋賀大	0	0	0
畿	和歌山大	9	1	10
	三重大	1	0	1
北海道	北海道大	1	1	2
関東	東京大	0	1	1
	筑波大	0	2	2
東海	静岡大	1	0	1
中部	信州大	1	0	1
	金沢大	1	0	1
	富山大	0	0	0
	岐阜大	1	0	1
中国	岡山大	0	0	0
	鳥取大	1	0	1
	広島大	0	0	0
	山口大	0	0	0
四国	島根大	0	0	0
	徳島大	1	0	1
沖縄九州	九州大	0	1	1
	福岡教育大	0	1	1
国立大合計		33	13	46

公立大

圏	大学名	現役	浪人	合計
近畿	大阪市立大	12	4	16
	大阪府立大	15	0	15
	京都府立大	1	0	1
	神戸市外国語大	1	0	1
	奈良県立医科大	2	0	2
	滋賀県立大	0	1	1
畿	和歌山県立医大	1	0	1
	横浜市立大	1	0	1
関東	首都大学東京	1	0	1
公立大合計		34	5	39

主な私立大学

圏	大学名	現役	浪人	合計
近畿	関西大	120	36	156
	関西学院大	17	10	27
	同志社大	43	16	59
	立命館大	36	7	43
	京都産業大	2	1	3
	近畿大	38	15	53
	甲南大	3	6	9
	龍谷大	6	17	23
	佛教大	0	2	2
	桃山学院大	7	2	9
	四天王寺国仏大	2	2	4
	大阪経済大	1	0	1
	摂南大	3	0	3
	神戸女学院大	0	0	0
畿	武庫川女子大	22	0	22
	京都女子大	5	0	5
	同志社女子大	14	0	14
	京都外国語大	4	1	5
	関西外大	5	0	5
	大阪女学院大	0	0	0
	大阪樟蔭女子大	1	0	1
	大阪大谷大	14	1	15
	大阪薬大	3	2	5
	京都薬大	0	0	0
	神戸薬大	1	1	2
	神戸学院大	2	0	2
	帝塚山学院大	1	0	1
	関西福祉科学大	3	0	3
近畿外	大阪芸術大	3	0	3
	大阪体育大	1	0	1
	畿央大	7	2	9
	大阪工大	4	1	5
	大阪電通大	0	1	1
	早稲田大	1	2	3
	慶応義塾大	0	0	0
	青山学院大	0	1	1
	立教大	0	0	0
	東京理科大	0	0	0
創価大	0	7	7	

現役(60期生)進路状況

性別	卒業生数	大学・短大進学			省所管外校	専修学校	就職	その他
		入学志願者	進学者	%				
男	159	154	101	65.6	1	2	0	55
女	160	147	124	84.4	0	16	3	17
計	319	301	225	74.7	1	18	3	72

現役(60期生)大学・短大志望者の進路状況

性別	卒業生数	四年制大学			短期大学		
		入学志願者	進学者	%	入学志願者	進学者	%
男	159	154	101	65.6	0	0	
女	160	147	119	81.0	5	5	100
計	319	301	220	73.1	5	5	100

浪人(59期生以前)の進路状況

性別	59期生(1浪)		58期生以前	
	四年制大学	短期大学	四年制大学	短期大学
男	37	0	3	0
女	16	0	1	0
計	53	0	4	0

主な私立短大(2名以上合格)

短大名	現役	浪人	合計
武庫川女子大短大部	3	0	3
関西外国語短期大	2	0	2

※資料化することを本人が了承した者のみの数値

今年も会員の皆様の投稿や賛助会費などのご協力により、「菊水郷」をお届けできました。会長の交代を機に、紙面を刷新して読みやすく親しみやすい内容を目指して取り組んできましたが如何でしょうか。

編集後記

これからもより親しみやすい充実した会報を目指して頑張っていきますので皆様も一層のご支援をお願いいたします。

部活動元気通信

陸上部

- 10月 秋季大会
- 【男子】
 - 400m 牧 (5位)
 - 砲丸投げ 西野 (5位)
 - 4×400mリレー 牧・弓場・奥・河野 (6位)
- 【女子】
 - 100mハードル 泉谷
 - 走り高跳び 泉谷 (2位)
 - 4×100mリレー 田端・堀・松江・泉谷 (6位)
 - 走り高跳び 田端 (6位)
 - 東大阪市ジュニア選手権大会 (5/12)
 - 女子棒高跳び 第1位 2m70
 - 松江愛奈 2-G 富田林高校新記録
 - 大阪高校陸上競技対抗選手権大会 (5/6)
 - 砲丸投 第7位 13m90
 - 西野駿作 3-F 富田林高校新記録
 - 円盤投 決勝 23m85 和中愛由 3-E

剣道部

- 第49回南河内地区武道大会
 - 個人 岸本・窪園-3回戦
 - 井口-3位
- 第55回富田林市民体育大会
 - 個人 岸本-優勝
 - 窪園-ベスト8
 - 藤本-4回戦
 - 芝本・井口-3回戦
- 第62回大阪高等学校総合体育大会剣道大会
 - 団体 男子0-4大手前
 - 女子0-3開明
- 第66回正見剣道大会 (秋季大会)
 - 団体 男子3-1金剛
 - 2-0大塚B
 - 2-3三国丘
 - 女子 (富田林・三国丘)
 - 4-0西郷屋川・八尾
 - 1-4市岡
- 第17回全国高等学校剣道選抜大会大阪府予選
 - 団体 男子2-2金剛 (本数勝ち)
 - 2-1山田
 - 1-4生野
 - 女子3-0岬
 - 1-3鳳
- 公式戦が終わりに3年生が引退し、数十年ぶりの女子キャプテンの下、2年1年、男女合わせて8人の新チームで頑張っています。
- 第36回南河内公立高等学校剣道錬成大会
 - 男子団体 3位 4-0藤井寺工科
 - 1-0狭山 (代表戦)
 - 0-3長野
 - 女子団体 3位 2-2狭山 (本数負け)
 - 2-1生野
- 第46回近畿高等学校剣道大会大阪府予選
 - 個人 岸本亮三 1回戦敗退
 - 窪園祐祐 1回戦敗退
 - 芝本佳世 ベスト32
 - 井口瑞紀 2回戦進出
 - 男子団体 ベスト32 1-2狭山
 - 女子団体 ベスト16 0-4好文学園女子

硬式野球部

- 8月 南河内公立高校大会 (優勝)
 - 17-7長野北 13-1河南
 - 9-4狭山 3-1藤井寺
- 新3学区公立高校大会
 - 4-5かわち野
- 仁徳杯 (3位) 9-0福泉 9-8初芝
- 1-6鳳
- 9月 秋季大阪大会
 - 8-1泉尾工 16-1山本
 - 7-10摂津
- 4月にP.L学園との練習試合を組んでいます。

卓球部

- 全日本ジュニア1次予選
 - 8月 シングルス
 - 4回戦 立川・太田
 - 3回戦 加藤・佐々木 1S
- 8月 大阪高校新人大会
 - 団体 1回戦 3-1堺工科

- 2回戦 3-0四条曙北
- 3回戦 0-3府立高専
- シングルス 4回戦 太田
- 3回戦 佐々木・南・前田・立川・1S
- ダブルス 5回戦 太田・1S組ベスト32
- 4回戦 立川・高山組
- 3回戦 加藤・佐々木組
- 10月 大阪高校総体
 - 団体 1回戦 3-0長野北
 - 2回戦 3-0生野工
 - 3回戦 3-0高石
 - 4回戦 3-2大阪工大
- 決勝トーナメント
 - 1回戦 2-3城東工業
- 1年8名、2年5名、3年8名の21名。目標大阪ベスト8、近畿大会出場。学習との両立をモットーに練習に励んでいます。
- 大阪高校選手権大会 (5月)
 - 団体 ベスト16惜しくも近畿大会出場できず
 - ダブルス 5回戦1組ベスト32
 - シングルス 3回戦3名
- 64ブロック大会 (4/29、5/11)
 - シングルス3回戦以上勝ち残り4名、4回戦3名、5回戦1名 (太田慎也) ベスト64

ラグビー部

- 第87回大阪高等学校ラグビーフットボール大会大阪府予選
 - 2回戦 29-10茨田
 - 3回戦 0-77日新
- 第63回大阪総体結果
 - 富田林・堺東合同チーム
 - 対摂津 29-10
 - 対天王寺 10-31
 - 対関西大倉 41-5 (2勝1敗)
- 秋から単独チームで戦います。



体操部

- 8月 高校総体出場
- 9月 2部 3部大会
- 11月 新人大大会
- 男子9人、女子10人で、先輩、後輩仲の良いクラブです。

ソフトテニス部

- 【男子】
 - 8月 大阪高校総体中央大会
 - 坪倉・山口組 1-4三国丘
 - 8月 公立高校大会本戦
 - 坂手・白谷組 4-3岸和田
 - 2-4北千里 (2回戦)
 - 宮下・山本組 4-2西
 - 0-4河南 (3回戦)
 - 10月 大阪高校総体
 - 本門・加藤組 2-4 (八尾翠翔)
 - 0-3長野
 - 3-0狭山 (予選リーグ2位)
 - 大阪高校春季大会
 - 団体戦 決勝トーナメント進出ベスト16
 - 大阪高校春季大会ブロック予選
 - 個人戦 3位本門・加藤組
 - 10位三村・白谷組
 - 上記2ペアは中央大会進出
 - 大阪高校春季大会中央大会
 - 個人戦 男子三村・白谷組ベスト32、惜しくも近畿大会出場ならず
 - 富田林市民大会
 - 個人戦 準優勝 三村・白谷組
- 【女子】

- 8月 公立高校大会本戦
 - 吉原・田中組 (ベスト8)
- 10月 大阪高校新人大会 吉原・田中組
 - 4-2泉北
 - 0-4淀之水 (2回戦)
- 10月 大阪高校総体
 - 0-3河南
 - 2-1港
 - 2-1三島 (予選リーグ2位)
- 大阪高校春季大会
 - 団体戦 予選リーグ2位
- 富田林市民大会
 - 個人戦 女子 準優勝 吉原・相馬組
- 6月7日の中央大会で3年生も全員引退し、現在は1、2年男子20名、女子7名で練習に励んでいます。目標は夏・秋の大会で活躍し、近畿大会に出場することです。

茶道部

- 2年生1名、1年生1名で頑張っています。

吹奏楽部

- 7月 大阪府吹奏楽コンクール南地区大会
 - 高校Bの部で「銀賞」受賞
- 12月 レインボーホールにてクリスマスコンサートに出場

バントワリントン部

- 9月 大阪府大会「銀賞」
- 11月 関西大会「金賞」
- 11月 大阪府高等学校芸術文化祭より、全国大会に推薦され、7年連続、8度目の出場です。

バドミントン部

- 高体連主催「春の大会」で、ダブルスは2回戦敗退、シングルスは2月に行われる。
- 新入部員を4人加え、楽しく部活動に取り組んでいます。今からの入部も歓迎しますので、見に来て下さい。

ソフトボール部

- 8月 公立研修予選 7-17箕面
- 11月 南河内大会 0-10登美丘
- 7-10初芝
- 5-8開福
- 13-0狭山
- ソフトボール部とは・・・ソノ空からパワーを補充し、不屈のソウルをもち、トとまらぬ情熱です。青春よいごここにあり!
- 春季大会
 - 1回戦 4-2貝塚 2回戦 5-4山田
 - 3回戦 7-8芦間

男子バレーボール部

- 7月 大阪高校総体 2-0山本
 - 0-2上宮太子
- 8月 大阪府立高校大会 ベスト16
 - 2-0天王寺 2-0八尾翠翔
 - 2-0長野 2-1北野
 - 1-2牧野
- 11月 部別大会 1部Aゾーンで2位
 - 2-1大教大天王寺
 - 2-1城東工科 0-2星翔
- 4/27部別大会 (1部Jゾーン3位で1部に残留)
 - 1-2高津 0-2大阪商大高
 - 2-0住吉
- 6/1インターハイ予選
 - 2-0泉陽 0-2近畿大学附屬

女子バレーボール部

- 8月 大阪府立高校大会
 - 南地区Gゾーン第4位
- 11月 秋季部別大会1次予選
 - 2部Gゾーン第4位
- 1月 大阪高校新人大会
- 2月 第4回フレンドリーカップ大会

水泳部

- 6月 春季12校戦
 - 男子1位 女子1位 総合1位

- 地区大会、中央大会
- 7月 強化練習 (1週間)・合宿 (3泊4日)
- 8月 高校対抗選手権 決勝進出
 - 男子200mバタフライ7位
 - 女子50m平泳ぎ6位
- 南大阪大会 総合8位
- 9月 秋季12校戦
 - 男子3位 女子3位 総合3位
 - 新人戦 決勝進出 女子50m平泳ぎ5位
- 東大阪室内選手権
 - 個人2位、春季12校戦男子1位 南 友貴

硬式テニス部

- 【男子】
 - 7学区新人テニス大会 優勝 高津
 - 大阪総体 本戦出場 高津
 - 第1回富田林市立総合スポーツ公園杯 優勝 山脇 準優勝 西田
 - 大阪高等学校秋季テニス大会 (団体) 本戦出場 山脇・竹本・井上・石田・吉永・西田・高津
 - 旧第7学区大会 (団体) 第3位 山脇・竹本・井上・山本
 - 春季大会本戦出場 高津 陸
 - 3学区大会本戦出場 勝部陽平 西田祐平
- 【女子】
 - 春季大会本戦、3学区大会出場 田中梨香子
 - 硬式テニス部は、男女混合なので、男子女子が仲が良く、練習する時は真剣に、練習以外の時はマイペースに、楽しくやっていけるクラブです。

サッカー部

- 南河内U-17 1部リーグ4位 (8チーム)
 - 3-1生野 0-1河南 1-2大塚
 - 4-2東住吉 6-0清教 1-1阪南大
 - 1-0東住吉総合
- 優秀選手 武田康佑 芳岡慎司
- 冬季合宿 (第7回 Torneo di natale)
 - Aチーム準優勝
 - 2-0洛東A 9-0高知西
 - 6-0立命館 11-0白子
 - 3-1洛東B 1-2北千里
- Bチーム3位リーグ1位
 - 0-2洛東B 1-2比叡山B
 - 3-2北千里B 2-0綾部
 - 1-1高知西 1-0水島工業



ハンドボール部

- 秋季総合体育大会予選リーグ
 - 6-7三国丘 4-8泉陽
- 堺市民大会
 - 9月 7-4藤井寺 12-1此花総合
 - 3-13城南
- 新人戦ブロック大会
 - 12-8阪南 3-18大谷
 - 10-9三国丘
 - 13-6阿倍野 (中央大会出場決定)
 - 2-22高津 (準決勝)
 - 8-13八尾 (3位決定戦)
- 新人戦中央大会 4-19東豊中・千里青雲
- インターハイ予選
 - 14-8阪南 16-6藤井寺 9-8天王寺
 - 中央大会進出決定!
 - 5-18八尾 7-19豊中
- 中央大会では敗れましたが全力を尽くす姿は見る人に感動を与えました。

男子バスケットボール部

- 4月よりインターハイ予選が始まり、我が校は、初戦清明学院に敗れてしまいました。現在は、体力をつけるべく、基本に戻って練習を重ねています。

女子バスケットボール部

- 大阪高校総体1次予選
 - 9月 39-45枚野
- 第1回秋季強化バスケットボール大会
 - 11月 予選リーグ 23-65西浦
 - 49-34東住吉
 - 2位 トーナメント 48-61長野
 - 61-63藤井寺
- インターハイ大阪府予選
 - 富田林67-52此花総合
 - 富田林52-64米田

ワンダーフォーゲル部

平成19年度よりワンダーフォーゲル部は、内容をスポーツ・クライミングとして再出発しています。スポーツ・クライミングは自分の手足の力だけでどれくらい人工の前傾した壁の中を登ることができるかを競うスポーツです。練習では自分にあった課題に向かって意欲的に取り組み、自分を強く鍛え、大きな達成感を味わっています。

平成19年

- 9月2日 大阪予選会 (1年)加藤洋輔 男子 第2位
- 11月11日 第12回近畿高等学校スポーツクライミング大会 神戸登山研修所にて (1年)加藤洋輔 男子 第8位



近畿大会競技風景